

「ショアリング」訓練を実施

大津市消防局

大津市消防局は6月24日、国際消防救助隊定期訓練として都市型搜索救助技術のひとつである「ショアリング」訓練を実施しました。今回の訓練では神戸市消防局特別高度救助隊（スーパーイーグルこうべ）が見学に来るなか、建物外部から倒壊を防ぐ「ソリッドソール・レイカーショア」を作成、また、今年度新規導入した高圧空気釘打ち機（エアネイラー）を使用し、迅速・的確にショアリングを作成する等、国際消防救助隊登録隊員として技術向上を図ることができました。



エアネイラーで迅速・的確にショアリングを作成

鉄道災害時の安全対策研修会を実施

豊中市消防本部

豊中市消防本部は6月28日、阪急電鉄(株)平井車庫において、鉄道災害時の安全対策研修会を実施しました。この研修会は、平成14年にJR西日本東海道本線で発生した消防隊員の人身事故を受け、事故発生時の通報体制や救助活動時の安全管理体制を確立するために、当消防本部が幹事市となり、平成16年度から実施しています。同電鉄沿線にある8市3町の消防職員と阪急電鉄職員合計55名が参加し、緊急連絡体制や車両の構造等を学んだほか、実車両を使用した救出基本訓練を実施しました。



阪急電鉄の実車両を使っでの研修

消防通信 望楼 ぼうろう

春日山原始林で合同林野火災防ぎょ訓練を実施

奈良市消防局／奈良市消防団

奈良市消防局中央消防署と奈良市消防団若草分団、奈良公園管理事務所は6月28日、若草山山頂付近において、合同林野火災防ぎょ訓練を実施しました。この訓練は、昭和53年6月に「春日山原始林」（ユネスコの世界遺産に登録）で発生した林野火災を教訓に、関係機関との連携強化、警防体制及び消防技術の練磨を図ることを目的に行われているもので、関係機関の初動体制と、消防機関の迅速的確な災害活動体制を確立するとともに、関係者の防火意識の高揚を図ることが出来ました。



世界遺産「春日山原始林」への延焼拡大阻止訓練を実施

災害に備え防災訓練を実施

備北地区消防組合

備北地区消防組合庄原消防署西城出張所は6月12日、庄原市西城町の西城街区において大規模な地震が発生したとの想定で防災訓練を実施、地域及び関係機関から総勢285名が参加しました。同市は昨年7月16日、西城町大戸地区から隣接する川北町にかけて、記録的な集中豪雨により土石流が発生し、死者1名、家屋の全半壊26棟の被害を受けました。この災害を教訓に、自主防災組織の一層の強化と関係機関との速やかな連携を図るため、避難・救護・初期消火等の訓練に取り組みました。



消防団員の誘導による避難訓練を実施

消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】